

11 冬になったら注意すること ～転倒、落雪～

ふゆ ちゆう い てんとう らくせつ  
冬に なったら 注意すること ～転倒、落雪～

はじめに : YouTube を見て、他の人と、話しましょう

- ① <sup>あおもりけん</sup>青森県の <sup>ふゆ</sup>冬は どう ですか。
- ② <sup>ふゆ</sup>冬に <sup>き</sup>気をつける ことは <sup>なん</sup>何ですか。
- ③ YouTube を <sup>み</sup>見て、どう <sup>おも</sup>思いましたか。
- ①②の <sup>ほか</sup>他に、<sup>はな</sup>話したいことが ありますか。

<sup>い</sup>言えますか？できますか？

- ① <sup>はな</sup>したこと／したいことについて 話す ことができる。
- ② <sup>かんたん</sup>したこと／することについて <sup>りゆう</sup>簡単に <sup>はな</sup>理由を 話す ことができる。

1. 雪が積もったり、道路がこおったり します



・V-たの練習

(1) I 動詞



ikimasu  
→ itta

例 <sup>い</sup> 行きます	<sup>つ</sup> つもります	<sup>こお</sup> 凍ります	<sup>すべ</sup> 滑ります	<sup>ふ</sup> ふぶきます
いった				
<sup>ころ</sup> 転びます	<sup>ある</sup> 歩きます	<sup>わた</sup> 渡ります	<sup>は</sup> はきます	<sup>たの</sup> 楽しみます

(2) II 動詞



tabemasu  
→ tabemasuta

例 <sup>た</sup> 食べます	<sup>み</sup> 見えます	<sup>お</sup> 落ちます	<sup>わす</sup> 忘れます	<sup>あ</sup> あります
たべた				

(3) III 動詞

例 <sup>さんか</sup> 参加します	<sup>ちゅうい</sup> 注意します	<sup>し</sup> します	<sup>き</sup> 来ます
さんかした			

・V1 たり、V2 たり します

～たり…たりします を <sup>つか</sup>使って、<sup>か</sup>書いてください。

その後、<sup>あと</sup> <sup>はな</sup>話してください。

例 <sup>れい</sup> <sup>ゆき</sup>雪が (降ります→ <sup>ふ</sup>ふったり)、<sup>どうろ</sup>道路が (こおります→ <sup>こお</sup>こおったり) します。

① <sup>にちようび</sup>日曜日は <sup>かぞく</sup>家族に ( <sup>でんわ</sup>電話します→ ..... )、ネット <sup>み</sup>でアニメを (見ます→ ..... ) します。

② <sup>にほんご</sup>日本語 <sup>きょうしつ</sup>教室で <sup>にほんじん</sup>日本人と ( <sup>はな</sup>話します→ ..... )、<sup>かんじ</sup>漢字を ( <sup>べんきょう</sup>勉強します→ ..... ) します。

③ <sup>とわだこ</sup>十和田湖で、<sup>の</sup>ボートに ( <sup>のり</sup>乗ります→ ..... )、<sup>か</sup>おみやげを (買います→ ..... ) しました。

④ <sup>さくら</sup>桜まつりで <sup>たくさん</sup>たくさん <sup>しゃしん</sup>写真を ( <sup>と</sup>撮ります→ ..... )、<sup>べんとう</sup>お弁当を ( <sup>た</sup>食べます → ..... ) しました。

⑤ <sup>ふゆやす</sup>冬休みは <sup>スキー</sup>スキーを ( <sup>し</sup>します→ ..... )、<sup>ゆき</sup>雪で ( <sup>あそ</sup>遊びます → ..... ) したいです。

⑥ 次の <sup>つぎ</sup>休み、 ..... ? ..... ?

⑦ <sup>くに</sup>国に <sup>かえ</sup>帰ったら、 ..... ? ..... ?

ほか ひと はな れんしゅう  
・他の人と話して練習してください。

A: Bさんは、いつも日曜日、何をしますか。

B: スーパーへ行ったり、 JLPTの勉強をしたりします。

Aさんは？

A: 私は 友達と会ったり、 ゲームをしたりします。

B: そうですね！



A: Bさんは、長い休みがあったら、何をしたいですか。

B: 青森のいろいろなところに 行ったり、  
友達と会ったり したいです。

A: そうですね！

B: Aさんは どうですか。

A: 私は、ネットで 映画を見たり、  
家で ゆっくりしたり したいです。

B: そうですね！

2. 転ばないように、こういう靴をはいてください

・V-ないの練習

(1) I 動詞



ikimasu  
→ ikana*い*

例 行きます	つもります	こおります	すべります	ふぶきます
いった				
ころ 転びます	ある 歩きます	わたります	はきます	たの 楽しみます

(2) II 動詞



tabemasu  
→ tabemasu*な*

例 食べます	み 見えます	お 落ちます	わす 忘れず	あります
たべた				

(3) III 動詞

例 参加します	ちゅうい 注意します	します	き 来ます
さんかした			

・V-ないように を書いてください。後で、話して練習してください。



例 (転びます→ ころばない) ように、冬の靴をはいてください。

- ① (忘れず→ \_\_\_\_\_) ように、メモをします。
- ② 時間に (遅れます→ \_\_\_\_\_) ように、アラームをセットします。
- ③ (間違えます→ \_\_\_\_\_) ように、何度も確認します。
- ④ 事故が (あります→ \_\_\_\_\_) ように、注意してください。
- ⑤ ( \_\_\_\_\_ ? ) ように、 \_\_\_\_\_ ?

- ・ □ から 言葉<sup>ことば</sup>を 選<sup>えら</sup>んで、～よう<sup>か</sup>に を 書<sup>か</sup>いてください。

わ 割<sup>わ</sup>ります しま<sup>し</sup>ます ころ 転<sup>ころ</sup>びます お 落<sup>お</sup>ちます ひき<sup>ひ</sup>きます しんばい 心配<sup>しんばい</sup>します

例 ( ころばない ) ように、 こうい<sup>くつ</sup>う 靴<sup>くつ</sup>を はいて ください。

① 家族<sup>かぞく</sup>が ( ) ように、 毎日<sup>まいにち</sup> 電話<sup>でんわ</sup>を して います。

② けが<sup>け</sup>を ( ) ように、 安全<sup>あんぜん</sup>な 靴<sup>くつ</sup>を はいて います。

③ かせ<sup>か</sup>を ( ) ように、 マスク<sup>ますく</sup>を しま<sup>し</sup>ます。

④ お皿<sup>さら</sup>を ( ) ように、 ゆっく<sup>はこ</sup>り 運<sup>はこ</sup>びます。

⑤ 屋根<sup>やね</sup>から ( ) ように、 気<sup>き</sup>をつ<sup>つ</sup>けて ください。



- ・ 他<sup>ほか</sup>の人<sup>ひと</sup>と 話<sup>はな</sup>して 練<sup>れんしゅう</sup>習<sup>しゅう</sup>して ください。

A: Bさんは、 仕事<sup>しごと</sup>の とき、 どん<sup>ちゅうい</sup>な こと<sup>こと</sup>に 注<sup>ちゅうい</sup>意<sup>い</sup>して いますか。

B: そうですね…、 順<sup>じゅんばん</sup>番<sup>ばん</sup>を 間<sup>ま</sup>違<sup>ちが</sup>えない ように、 メモ<sup>めも</sup>を とっ<sup>と</sup>て います。

それ<sup>それ</sup>から、 それ<sup>それ</sup>を 忘<sup>わす</sup>れ<sup>れ</sup>ない ように 何<sup>なん</sup>度<sup>ど</sup>も 見<sup>み</sup>て います。

A: そうですね！

B: Aさんは どう<sup>どう</sup>ですか。

A: 私<sup>わたし</sup>は、 時<sup>じ</sup>間<sup>かん</sup>に 遅<sup>おく</sup>れ<sup>れ</sup>ない ように アラーム<sup>あらーむ</sup>を セッ<sup>せ</sup>ッ<sup>つ</sup>して います。

それ<sup>それ</sup>に、 予<sup>よ</sup>定<sup>てい</sup>を 間<sup>ま</sup>違<sup>ちが</sup>えない ように

携<sup>け</sup>帯<sup>たい</sup>で スケジュー<sup>スケジュール</sup>ル<sup>る</sup>を 管<sup>かん</sup>理<sup>り</sup>して います。

B: そうですね。 それ<sup>それ</sup>も いい アイデア<sup>アイデア</sup>です<sup>です</sup>ね！



3. 危あぶないですから、横断歩道おうだんほどうはいつもより注意ちゅういして渡わたってください

・  と  から選えらんで、～から… を書かいてください。

- ・ ~~寒い~~です
- ・ 危あぶないです
- ・ 遅おそく寝ねました
- ・ 日本語にほんごが得意とくいじゃないです
- ・ 国くにの料理りょうりが食たべたいです
- ・ たくさん勉強べんきょうしました
- ・ 恋人こいびとが遊あそびに来きます

- ・ 自分じぶんで作つくります
- ・ 眠ねむいです
- ・ ゆっくり話はなして ください
- ・ 一緒いっしょに旅行りょこうします
- ・ 日本語にほんごが わかります
- ・ 注意ちゅういして 渡わたってください
- ・ ~~ストーブ~~を つけます

例 さむいですから、ストーブを つけます。

- ① ..... から、\_\_\_\_\_。
- ② ..... から、\_\_\_\_\_。
- ③ ..... から、\_\_\_\_\_。
- ④ ..... から、\_\_\_\_\_。
- ⑤ ..... から、\_\_\_\_\_。
- ⑥ ..... から、\_\_\_\_\_。

・から を <sup>つか</sup>使<sup>つ</sup>って、<sup>ほか</sup>他<sup>ひと</sup>の人と <sup>はな</sup>話<sup>わ</sup>してください。

例 <sup>れい</sup>日本<sup>にほん</sup>が <sup>す</sup>好<sup>す</sup>きで<sup>た</sup>から、 <sup>にほん</sup>日本<sup>はたら</sup>に <sup>き</sup>働<sup>き</sup>きに <sup>き</sup>来<sup>き</sup>ました。

① たくさん <sup>ゆき</sup>雪<sup>ふ</sup>が <sup>ふ</sup>降<sup>ふ</sup>りました から、 \_\_\_\_\_。

② \_\_\_\_\_ から、 <sup>せんぱい</sup>先<sup>そうだん</sup>輩<sup>い</sup>に <sup>き</sup>相<sup>き</sup>談<sup>い</sup>しま<sup>し</sup>た。

③ \_\_\_\_\_ から、 \_\_\_\_\_。

はな  
話<sup>わ</sup>しま<sup>し</sup>よう

- ・ <sup>あおもりけん</sup>青<sup>ふゆ</sup>森<sup>す</sup>県の <sup>ふゆ</sup>冬<sup>ちゅうい</sup>は <sup>ちゅうい</sup>どう<sup>い</sup>ですか。
- ・ <sup>ふゆ</sup>冬<sup>ちゅうい</sup>、 <sup>ちゅうい</sup>ど<sup>い</sup>んな<sup>い</sup>こと<sup>い</sup>に <sup>ちゅうい</sup>注<sup>い</sup>意<sup>い</sup>して <sup>ちゅうい</sup>い<sup>い</sup>ますか。



A: <sup>あおもりけん</sup>青<sup>ふゆ</sup>森<sup>す</sup>県<sup>す</sup>で <sup>ふゆ</sup>冬<sup>す</sup>を <sup>す</sup>過<sup>す</sup>ご<sup>す</sup>した<sup>す</sup>こと<sup>す</sup>が <sup>す</sup>あ<sup>す</sup>り<sup>す</sup>ま<sup>す</sup>か。

B: はい。 <sup>きょねん</sup>去<sup>ふゆ</sup>年<sup>あおもりし</sup>の <sup>ふゆ</sup>冬<sup>あおもりし</sup>、 <sup>あおもりし</sup>青<sup>あおもりし</sup>森<sup>あおもりし</sup>市<sup>あおもりし</sup>に <sup>あおもりし</sup>い<sup>あおもりし</sup>ま<sup>あおもりし</sup>した。 <sup>あおもりし</sup>と<sup>あおもりし</sup>て<sup>あおもりし</sup>も <sup>あおもりし</sup>寒<sup>あおもりし</sup>か<sup>あおもりし</sup>った<sup>あおもりし</sup>で<sup>あおもりし</sup>す!

A: <sup>あおもりし</sup>そ<sup>あおもりし</sup>う<sup>あおもりし</sup>で<sup>あおもりし</sup>す<sup>あおもりし</sup>ね。 <sup>きょねん</sup>去<sup>ゆき</sup>年<sup>あお</sup>は <sup>あお</sup>雪<sup>あお</sup>が <sup>あお</sup>と<sup>あお</sup>て<sup>あお</sup>も <sup>あお</sup>多<sup>あお</sup>か<sup>あお</sup>った<sup>あお</sup>で<sup>あお</sup>す<sup>あお</sup>ね。

B <sup>あお</sup>さ<sup>あお</sup>ん<sup>あお</sup>は、 <sup>あお</sup>冬<sup>あお</sup>、 <sup>あお</sup>ど<sup>あお</sup>んな <sup>あお</sup>こ<sup>あお</sup>と<sup>あお</sup>に <sup>あお</sup>注<sup>あお</sup>意<sup>あお</sup>し<sup>あお</sup>ま<sup>あお</sup>した<sup>あお</sup>か。

B: <sup>あお</sup>そ<sup>あお</sup>う<sup>あお</sup>で<sup>あお</sup>す<sup>あお</sup>ね...、 <sup>あお</sup>転<sup>あお</sup>ば<sup>あお</sup>な<sup>あお</sup>い <sup>あお</sup>よ<sup>あお</sup>う<sup>あお</sup>に <sup>あお</sup>特<sup>あお</sup>別<sup>あお</sup>な <sup>あお</sup>靴<sup>あお</sup>を <sup>あお</sup>は<sup>あお</sup>い<sup>あお</sup>て<sup>あお</sup>い<sup>あお</sup>ま<sup>あお</sup>した。

それから、雪が落ちてくる かもしれませんから、

屋根の近くを 歩きませんでした。 Aさんは どうでしたか?

A: バスが遅れる かもしれませんでした から、

仕事に遅れないように いつもより 早く 家を出ていました。

B: 私 もです!





ディクテーション

ひらがな OK!

A: あおりの ..... は、とても ..... です。

たくさん ..... が ..... ところが  
.....°

B: ゆきが .....、

どうろが ..... するので、  
ころぶ .....°

A: ..... ように、

こういう くつを ..... ください。

B: ..... で よく ..... ことが

.....°

A: ..... です から、おうだんほどを

わたるとき、 ..... ください。

B: やねの ..... を ..... ときも

..... してください。 ..... が

おちてくる .....°

A: みちを ..... ときは、 .....

ことが たくさん .....°

でも、 ..... の けしきは ..... です。

B: ..... あおりの ..... を

..... !